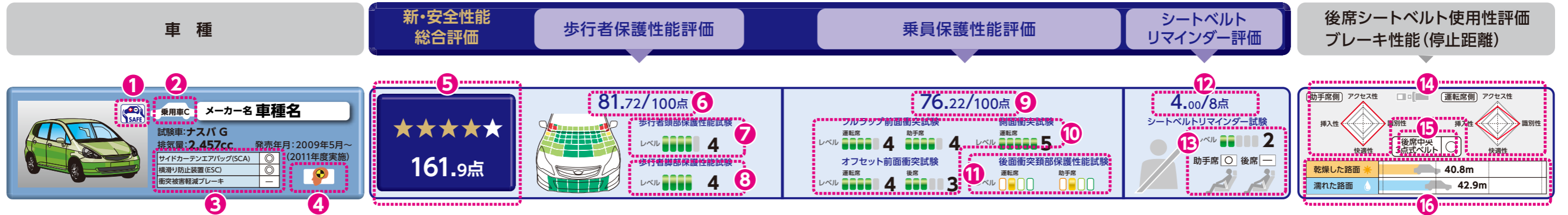


評価結果の見方



1 衝突後の感電保護性能試験結果

感電保護性能試験を実施し、評価基準に適合したものを表しています。

2 試験車の種類

- 電気自動車 → 電気自動車 (電気ハイブリッド自動車を除く)
- 軽自動車 → 軽自動車
- 乗用車A → 排気量 1,500cc 以下 (1Box&ミニバン除く)
- 乗用車B → 排気量 1,500cc 超～2,000cc 以下 (1Box&ミニバン除く)
- 乗用車C → 排気量 2,000cc 超 (1Box&ミニバン除く)
- 1Box → 1Box & ミニバン (座席が3列以上あるもの)
- 商用車 → 商用車

3 安全装置の装着状況

普及が望まれる安全装置について試験車の装備状況を表しています。

※試験を実施した車両の装備状況について、掲載しています。
 ◎: 標準装備 ○: オプション装備 -: 設定なし

4 サイドカーテンエアバッグ評価

側面衝突試験において、サイドカーテンエアバッグ(SCA)の評価を行ったことを表しています。

5 新・安全性能総合評価

歩行者保護性能評価、乗員保護性能評価、シートベルトリマインダー評価の得点を基に★の数を表示しています。
 ★の数が多いほど、乗員や歩行者に対する傷害は軽くなります。

6 歩行者保護性能評価

歩行者頭部保護性能試験と歩行者脚部保護性能試験の試験を基に100点満点で表しています。

7 歩行者頭部保護性能試験

試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど歩行者頭部保護性能が高いことを表しています。

8 歩行者脚部保護性能試験

試験結果を4段階で表示し、レベルの数値が大きいほど歩行者脚部保護性能が高いことを表しています。

9 乗員保護性能評価

フラップ前面衝突試験、オフセット前面衝突試験、側面衝突試験及び後面衝突頸部保護性能試験を基に100点満点で表しています。

10 前面・側面衝突試験

試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど乗員保護性能が高いことを表しています。

11 後面衝突頸部保護性能試験

オレンジ色、黄色、薄緑色、緑色の4段階で表示し、緑色が最も後面衝突頸部保護性能が高いことを表しています。

12 シートベルトリマインダー評価

シートベルトリマインダー試験を基に8点満点で表しています。

13 シートベルトリマインダー試験

試験結果を5段階で表示し、レベルの数値が大きいほど非着用時の警報効果が高いことを表しています。
 助手席及び後席毎の座席ベルトの非着用時警報装置(シートベルトリマインダー)の装備の状況を表しています。

14 後席シートベルト使用性評価

2列目シートのシートベルトのアクセス性、バックルの識別性、バックルのタンクへの挿入性及びシートベルト装着時の快適性について、3段階で表しています。評価段が大きいほど、シートベルトの使用性評価が高いことを示しています。
 赤線はシートポジションが標準位置、青線はシートポジションを前方に移動した位置における評価を表しています。

15 後席3点シートベルト

後席中央席に3点シートベルトが装着されていることを表しています。
 後席中央席がない場合はこの表示はありません。

○: 装備あり
 -: 装備なし

16 ブレーキ性能(停止距離)

時速100kmからブレーキペダルを素早く踏んで停止するまでの距離をグラフで表しています。